

痰の出ない空咳　まず麦門冬湯を

Q 六十三歳、女性。一月にインフルエンザにか

かり四〇度近い発熱と関節痛、咳（せき）、倦怠（けんたい）感で二週間ほど寝込んでしまいました。インフルエンザは治ったのですが、その後微熱や咳が続き、四月になつても空咳だけがとれません。内科では検査で異常ないから心配いらなと言われています。

をお勧めする。

痰（たん）のない空咳で咳込み出したら止まらず「顔が真っ赤」になるようなら麦門冬湯（ばくもんどうとう）が第一選択剤である。

空咳に伴う症状として、口内が乾燥して気持ち悪く、なんとなく粘りつくような苦いような違和感があり、ろっ骨のあたりや、みずおちがつかえ、神経がたかぶり不眠傾向になる場合は柴胡桂枝乾姜湯（さいこけいしかんきょうとう）か竹筴温胆湯（ちくじょうたんとう）が用いられる。体力を消耗し力のない空咳が続く場合は竹葉石膏湯（ちくようせつこうとう）、皮膚が乾燥きみで、便秘傾向があり、空咳が出る場合は滋陰降火湯（じいんこうかとう）などがよく使われる。

A 昨年末から今年二月にかけて、全国でインフルエンザが猛威をふるった。インフルエンザが治った後で、気道粘膜の過敏性が亢進（こうしん）していつまでも咳が出やすい、という方が特に高齢者に多くみられる。こうした症状には漢方薬が非常によく効くのでぜひ試みることを